



議員 山口市議員 谷部 竜作

教育行政について

問 隣市で発生した、児童5人が死傷する痛ましい事故を受け、本市においても通学路緊急点検を実施したと伺いましたが、その結果について、6月実施の合同点検結果と併せて伺います。

答 教育部長 毎年行っている通学路点検では13か所、緊急点検では14か所の点検を行いました。1か所につき、複数の対応があるため、13か所に対して取り組む予定の対策改善策は22点あり、うち5つが完了しました。

緊急点検の14か所は、対策改善策が25点あり、うち5つが完了しました。

主な対策は、外側線の引き直し、運転手への注意喚起の路面標示、道路標示や標識、歩道の妨げとなる草木の剪定等が挙げられました。

今後は、残った対策を関係機関と連携を図りながら、年度内に改善できるように努めていきます。

問 以前にも質問した、山武中学校から県道方面に向かう通学路の安全対策について伺います。

答 建設環境部長 市道壇谷線は、カーブの多い道路であり、以前の議会答弁と同様、将来的には整備の必要な路線と考えています。

今後、山武中学校の北側、T字路交差点の路面標示改良を実施する予定です。

また、路側帯へのグリーンベルトの設置の延長と、定期的な路肩の土砂撤去や除草などを実施していきます。

問 東消防署山武分署前の交差点改良について伺います。

答 建設環境部長 交差点改良が絡む道路整備は、事業規模が大きくなること、用地の確保が大変厳しい状況にあることなど、相当の時間が必要となっていることが現状です。路面標示などの安全対策を実施していきますので、御理解いただきますようお願いいたします。



緊急一斉点検の様子

新型コロナウイルス感染症対策について

問 本市における自宅療養及び濃厚接触者等の生活支援について伺います。

答 保健福祉部長 新型コロナウイルス感染症の感染者や濃厚接触者については、市町村への個人情報提供がなく、県が対応している状況です。県では、陽性と診断された方のうち、自宅療養または自宅待機中の方で、配食サービスを希望する方へ、1人1回、7日分の配食サービスを行っています。

問 他県では、きめ細やかな生活支援をするため、市町村が生活支援をしている自治体もあります。自宅療養者が急増している現在、本市でも自宅療養者や濃厚接触者の生活支援などを行うべきと考えますが、いかがですか。

答 保健福祉部長 本県では、感染者等について市町村との情報連携がなく、支援は保健所が行っている状況です。しかし、感染者の急増により保健所業務が逼迫しており、市職員を保健所へ派遣し、保健所業務の支援を行っています。

問 濃厚接触者の方が職場や学校へ復帰する際の、PCR検査や抗原検査費用等への補助について伺います。

答 保健福祉部長 発熱外来やPCR検査を実施している医療機関においては、患者が増加しており、一般の外

来を制限しなければならぬ状況にあると聞いています。ここで検査を受ける場合、医療機関の一層の疲弊を招くことになると考えます。

また、濃厚接触者の情報も市にはなく、補助対象者かどうかの確認も取れないため、検査費用の補助については、実施予定はありません。

問 児童生徒が新型コロナウイルスに罹患または濃厚接触者となった場合、長期にわたる欠席を強いられ、登校した際、差別やいじめの対象にならないのか、非常に心配されます。学力の遅れなども含め、市の対応を伺います。

答 教育長 新型コロナウイルスの感染は、誰にでも起こり得ることであり、偏見や差別につながるような行為は「しないさせない」という指導を、ホームルームや集会、保健だよりなど、機会があるごとに、学校全体で取り組んでいます。

また、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう全職員でサポートするとともに、心の教室相談員やスクールカウンセラーなどを配置し、相談がしやすい環境を整え、きめ細かな心のケアができるように努めています。

学習の遅れにつながらない対応としては、個に応じた学習の支援、指導に努めるとともに、1人1台のタブレット端末を活用したオンライン学習を進め、学びの保障に引き続き努めていきます。



公明党 市川陽子 議員

通学時の交通安全確保について

問 成東小学校付近の三差路交差点は、車の交通量が多く、登下校時の危険を感じますが、安全対策について伺います。

答 建設環境部長 関係者間の検討では、ゾーン30の規制を前提として、当面、現状の道路形状、道路幅員で実施可能な路面着色などの安全対策を実施します。

問 福岡県教育委員会発行の『飲酒運転防止に関する指導の手引』の中で、命の大切さ、規範意識、責任ある行動や飲酒運転の危険性などについて取り上げています。飲酒運転撲滅について、幼少期から、正しい知識を学び伝えていくことが重要に思います。交通安全教育の取組について見解を伺います。

答 教育長 生命尊重の精神や思いやりの心、規範意識の育成に努め、飲酒による身体への影響や飲酒運転の悪質

性・危険性を発達段階に応じ、理解させていくことが飲酒運転撲滅につながっていくと考え、早期からの教育に努めます。

小学校教科担任制について

問 文部科学省は、令和4年度を目途に、小学校5・6年生の理科、算数、英語、体育の4教科について、教科担任制を本格導入する予定としています。市の見解を伺います。

答 教育長 国の動向を踏まえ、積極的に進めていきたいと考えます。教科指導の専門性を持った教師による、きめ細かな指導と授業の質の向上、中学校の学びにつながる系統的な指導の充実を図る観点から、優先的に専科指導の対象とされている4教科について、より専門性を持った教員の配置を、県へ要望したいと思えます。

問 コロナ禍の中、子ども達の学びの機会を逸することのないよう、オンライン授業を受けるか選択ができるハイブリッド授業が広がっています。今後の取組について伺います。

答 教育長 現在、1人1台端末の学習環境が整いましたので、オンラインと対面を両立させた最適な学習環境の提供ができるよう準備を進めています。

今後も、未来をつくる子ども達に必要な、資質・能力を確実に身につける学校づくりを推進します。



公明党 深沢誠 議員

通学時の交通安全確保について

問 松尾町高富地区の市道松尾町高富富口線の浅野商店前付近のS字カーブ及び高橋自動車钣金工業付近のカーブの2か所に対する安全対策について伺います。

答 建設環境部長 根本的な解決には、道路用地を確保し、道路の線形を変えらるなど、事業規模が大きくなることを考えられますが、現状の道路形状、道路幅員の範囲でできる当面の安全対策として、注意喚起を促す路面標示や、交差点内のカラー舗装化などの実施を予定しています。

問 スクールバスの導入について伺います。

答 教育部長 スクールバスの積極的活用については、統合校でのスクールバスの導入実績を踏まえ、国の新制度の動向を注視しながら、考えていきます。

中学校の制服について

問 転入生の制服について、保護者等から相談があった場合の対応について伺います。

答 教育部長 前在籍校で使用していた制服を使ってもよいということに対応していますが、貸与用の制服を保管している学校もあります。

また、在校生や卒業生への声かけなどにより、制服を無償で譲っていただくなどの対応もしている状況です。

問 ジェンダーレス制服の導入について本市の対応を伺います。

答 教育長 統合校の制服検討の際は、児童生徒及び保護者へのアンケートを実施し、また、性的少数者(LGBT)への配慮の重要性について、学校統合準備委員会でも協議いただき、さきに開校した山武中学校や来年度開校予定の連沼中学校と松尾中学校の統合校である山武望洋中学校とともに、制服を一新し、両校ともブレザー型の制服を採用して、女子は従来のスカートに加えて、スラックスも選択ができるようにしています。

女子のスラックスは、防寒対策や自転車通学での動きやすさなどの利点があり、同時に、性的少数者への配慮を図ることもできます。制服のジェンダーレス化が広がっており、その重要性を共有しながら進めていきたいと思えます。